

平成26年度 第2回市長タウンミーティング概要

と き：平成26年4月12日(土)
午後7時～午後8時30分
ところ：東公民館
参加者：72人

○市長あいさつ

(市長より、平成26年度の施策・予算についての説明が行われました。)

○意見交換

質問(男性)

まちづくりの6つの基本目標のうちの1つ、「みんなにあたたかく健康に生活できるまち」の具体的な事業として、ご提案があります。先日のNHKテレビ番組で、ある自治体が高齢者の健康づくりのために、なじみのあるカラオケ曲に合わせた体操教室を開催し、好評を博していると紹介していました。こうした教室は、生活に必要な体力や筋力づくり、外出のきっかけづくり、また、仲間との交流にもつながるので、蕨市でも行っていただきたいと思います。

回答(市長)

市内において、高齢者のかたの健康増進やレクリエーションの場として、公民館や老人福祉センターなどの講座で、体操教室やカラオケ教室などが開かれています。お話しのありました、なじみのある曲に合わせた体操教室も効果的な取り組みだと思しますので、今後担当に研究させていきたいと思えます。

質問(女性)

塚越7丁目の市有地を活用して整備を進めている認可保育園は、保育園のみの施設なのか、それとも多目的な複合施設なのでしょうか、教えていただけますか。

回答(市長)

市有地の面積は934平方メートルで、認可保育園(2階建て)のみを予定しています。

質問（女性）

子どもが塚越小学校に通っており、校舎や体育館の耐震化完了は、たいへん感謝しています。ただ、その一方でトイレの老朽化が進んでいます。昨年度、校内のトイレ8か所のうち、1か所を改修していただきましたが、残りのトイレの改修予定はあるのでしょうか。

回答（市長）

これまで安全安心を最優先に、学校施設の耐震化事業を進めてきており、学校体育館については、耐震化と合わせて大規模改修を行い、トイレもきれいになりました。更に昨年度は、小学校のトイレの改修を行いました。当初はできるだけ多くのトイレを改修することも検討しましたが、洋式化などへの便器交換やにおいの改善を行う改修には、多額の費用がかかるため、各校とも主に低学年が使用するトイレの改修をいたしました。なお、今年度は、中学校のトイレを改修する予定となっています。学校のトイレについては、他からも改修してほしいとの声をお聞きしており、そうしたご要望があることを踏まえ、公民館などの耐震化事業を進めた後に、限りある予算のなかで対応できるかを検討していきたいと思っております。

質問（男性）

新年度の4つの基本方針のうちの1つ、「暮らしを守る市政の継続・前進」について、国民健康保険の保険税を据え置きとあります。配布された資料には、年間所得200万円の事例が他市との比較を踏まえながら掲載されていますが、年間所得400万円の事例も教えていただけますか。

回答（市長）

各自治体が算出するモデルケースの多くは年間所得200万円のため、今回も同様に算出いたしました。

年間所得200万円のモデルケース：※夫婦（介護分あり）と子ども2人、固定資産なし
蕨市：212,500円 戸田市：257,500円 さいたま市：319,800円
川口市：327,000円 いずれも年税額

年間所得400万円での算出についても、蕨が近隣市の中では、一番保険税が安いと思っておりますが、あらためて担当課より回答させていただきます。

（医療保険課より回答：上記条件と同じく年間所得400万円のケース 蕨市：378,500円 戸田市：466,700円 さいたま市：578,400円 川口市：586,800円となっています。）

質問（女性）

1点目は、市役所の人事についてです。市民と行政が一体となったまちづくりを進めていくために、職員のかたの力はたいへん重要だと思います。先日、市役所に訪れた際、部長職を担っていたかたが、定年後も勤務している様子を見かけました。そうしたかたの力も必要ですが、若い力もどんどん生かしていけるような環境作りを進めてはいかがでしょうか。

2点目は、粗大ごみ収集券についてです。仕事をしていると、どうしても平日の購入が難しいので、公民館などで土日でも購入できるようにしていただきたいと思っています。

回答（市長）

1点目の市職員の若い力の活用についてお話しします。市の組織においては、市長の下、各部が構成され、部長職の職員がいます。近年では、これまでよりも若い年齢で部長に抜擢するケースもあり、ベテラン部長と若い部長をバランスよく配置した人事を行っています。一方、市職員の年齢構成で、40代後半から55歳くらいまでの職員数が少ないという現状があり、それを補うため、定年後の再任用制度を活用し、部長を経験した職員を管理職として配置しているケースがあります。今後も市職員が存分に力を発揮できるよう、適材適所の人事配置を行っていきたいと思います。

2点目の粗大ごみ収集券は、金銭の取り扱いをできるのが職員だけということもあり、現状、旭町公民館と北町公民館以外は土日に購入できない状況です。そうしたなか、土日に購入できる施設を増やしてほしいというご要望は以前からいただいており、コンビニエンスストアなどでの販売も研究してきました。ただし、手数料の関係などもあり、現在、取り扱いには至っておらず、今後どのような形がいいのか、検討課題としていきたいと思っています。

質問（女性）

くると高層マンションの間の道路は、天候によって、ビル風が強く危険です。風が強いときにつかまれる物を設置するなど対策を検討していただけないでしょうか。

回答（市長）

ビル風の対策として、仮につかまる物を設置しても、その物自体が飛ばされて危険になる場合も考えられます。また、お話しがあつた付近は再開発組合の管理下にあるため、市だけで即効性のある対策を行うのはなかなか難しい状況です。ただ、お話しいただいた付近の風の強さは、認識を持っております。強風のときなどには、皆さんじゅうぶんど注意いただければと思います。

質問（女性）

生活道路において、段差ができていたり、つなぎ目が割れていたりする箇所が市内で見受けられます。足の悪いかたなどが生活道路を通行する際にも配慮し、調査を行った上で、改善していただけないでしょうか。

回答（市長）

市内の道路は3段階でランク付けし、優先順位の高い道路から改修を行っていますが、厳しい財政状況の中、限られた箇所だけとなっています。新年度においては、機械を使用した路面性状調査を実施し、より詳細な状況把握に努め、計画的な改修を進めていきます。ただし、危険な状況は放置できないので、万一そういう箇所を見つけた際には、ご連絡いただければと思います。

質問（男性）

コミュニティバス・ぷらっとわらびの車内後部に段差があるので、改善していただけないでしょうか。

回答（市長）

バリアフリーを前提にした車両を使用していますが、車両後部にエンジンがあるため、その付近には段差ができてしまう構造になっています。車両をすぐに変更することは難しいので、段差のない車両前部をご利用いただければと思います。ただし、今後車両を買い替える際には、段差のない物があれば検討していきたいと考えています。

質問（女性）

知的障害者への福祉は向上しているのでしょうか。

回答（市長）

個別の具体的なお話はあらためてお聞かせいただければと思います。知的障害者の皆さんへの福祉の向上については、現在、錦町の市有地を活用し、来年4月の開設を目指してNPO法人が障害者グループホーム（居室6部屋・ショートステイ2部屋）の整備を進めています。また、これまでも重度心身障害者医療費の窓口払い廃止などを行ってきました。ただし、前述の障害者グループホームに入れられない方もいらっしゃることは認識しており、今後も個々の事例を聞かせていただきながら、みんなが安心して暮らせる蕨のまちづくりを一步一步進めていきたいと考えています。

※ご質問いただきました内容に関して、担当課の確認など、その場でお答えできなかった内容を、加筆・修正して公開しています。